



善頭エッセイ

はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

81

「八つ目は、ひと月遅れの高嶺の花」



文月 斉 (ふみつき さい) 埼玉県出身。人と街、自然と文化を題材に、みちくさばかりの旅を続けるエッセイスト。函館、埼玉、大阪を拠点に旅を満喫中。

前略、変わりはないか？ 7月に入ったね。今年も一年の半分が過ぎたんだね。なんて、一年のうちには何度同じようなセリフを口にしていくかわからないけど、月日が経つのはあつという間だね。つい半年前に生涯初のスキーを体験したばかりだというのに、気がつけばもう夏。函館の街から見える山並みに雪はなく、山々は鮮やかな緑の衣に覆われているよ。スキー場って夏の間はどうなっているのさ？ふとそんな思いが頭によぎったので、先日、半年ぶりにスキー場で足を伸ばしてみた。訪れた先は、函館の隣町、七飯町の函館七飯スノーパーク。新日本三景の一つとして知られる大沼国定公園に隣接するスキー場で、全長約4kmのロングライドのできるゲレンデとして人気のスキー場なんだ。スキーで訪れたという人は周りにいくらでもいるけど、夏場に行ったことのある人はなかなかなくてね。情報がほとんどないまま行ってみることにした。いや、何が驚いたって、雪がないだけでこんなに景色が違って見えるものなんだね。白銀の世界だったゲレンデには草が生え、斜面は意外と凸凹していたよ。スキー場の営業とともに休んでいたゴンドラは、ゴルドンウィークに合わせて運行を再開して、まずはこのゴンドラで上まで行くことにした。前回は初めてのスキーをする緊張とドキドキでゴンドラからの景色を楽しむ余裕はなかったけど、今回は上に着くまでおよそ15分、しつかりと景色を堪能することができた。そう、結構長い時間乗っているんだよ。全長3319メートル、高低差は659メートル、思った以上に乗りがいがあったね。天候にも恵まれ眺めも良く、高度が上がると徐々になんか景色が大沼国定公園は、なんだかジオラマを見ているようだった。山頂には意外なことに散策路が整備されていて、一周約30分のコース上には4つの展望スポットが用意され、すべて廻ると7つの絶景が楽しめるんだってさ。せっかくだから散策してみると、蝦夷富士の名で知られる羊蹄山をはじめ、太平洋側の室蘭の地球岬から、日本海側の乙部岳まで、地図帳でも見ているような感覚で楽しむことができたよ。もともと、一番驚いたのは、ゴンドラの南東側の谷沿いにかけて鉾山があり、最盛期には小中学校ができるほどの大規模な集落があったんだってさ。鉾山は昭和35年に閉山したそうだけど、意外と最近の話なんだね。もう一つ、散策路を歩いて意外だったのは、思いのほか高山植物が咲いているんだ。紫色のハクサンチドリの花が斜面全体に咲いていたり、函館山ではゴルドンウィークの頃にわずかに咲くサンカヨウの白い花が群生を作って咲き乱れていたり、花好きの僕としては8つ目の絶景として加えたいくらい興奮したよ。標高の高さが影響しているのさ。うね、函館山に比べてひと月ほど遅れて花が咲いている印象だった。え、また花の話かって？まあそういうわかないで、君が食いつきそうなんだ。ごネタも仕入れてきたよ。山頂には一昨年の冬からカフェがオープンしててね、その名も「PEAK CAFE (ピークカフェ)」。ガラス張りの開放感あふれるカフェでは、地元食材を使ったおまかせランチやコースメニューなどが楽しめるんだ。いまや旅先グルメの定番となったソフトクリームもあって、これがまた濃厚なこと。いつもは見上げている駒ヶ岳の山頂を真横に見ながら食べるその味はまさに天上の味だった。今月下旬からはサンセットゴンドラの営業も始まるので、今度来たときには「一生に一度は見るべき夕日絶景ベスト5」に選ばれた夕焼けを見ながら食事でもとるとしよう。はいはい、もちろんソフトクリームもおつけしますよ。それじゃあまた。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ
イータックス 検索